実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（山口県立大学）

看護栄養学部　看護学科

2021年度以前入学生用カリキュラム：合計74単位（全学教育12単位）（他学部等共通5単位）
省令で定める単位数等の基準数相当分(13単位)

科目名	単位数	授業内容
宗教学 【情報社会Ⅱ（宗教）】	2	住職経験のある教員が、宗教学の知見を踏まえ、宗教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
生命と倫理	2	・助産師経験のある教員が、出生前診断・生殖補助医療現場について講義を行う。 ・小児科・NICUでの看護師経験のある教員が、子どもと生命に関する倫理について講義を行う。 ・消化器外科の経験のある教員が、消化器疾患、特にがんに関する講義を行う。 ・外科医経験のある教員が、最新医療技術について講義を行う。
地域環境論	2	NPO法人や市民活動団体の代表者として組織のマネジメントをしながら活動を実施している教員が、課題解決のため継続的に実践できるよう、その取り組み事例等を紹介しながら授業を行う。
美術	1	グラフィックデザイナーとして印刷会社に勤務経験のある教員が、作品制作の指導を行う。
茶道 【日本の芸術と文化Ⅰ】	1	表千家同門会の学校茶道指導者である講師が、茶道の基本的な作法を修得することを目標とする授業を行う。
華道 【日本の芸術と文化Ⅱ】	1	華道専正池坊及びロイヤルフラワーアレンジメントの資格を持つ講師が、生花、自然花、自由花の実技とともにニーズにあったフラワーアレンジメントも取り入れる等華道の様々な技法の修得を目標とする授業を行う。
陶芸 【山口の芸術と文化】	1	日本伝統工芸展に複数回入選歴のある萩焼作家である教員が、作陶の指導を行う。
インターンシップ 【就業体験・インターンシップ】	2	主に県内の事業所においてインターンシップを行い、地域で働く意味を知るとともに、自分の専攻分野や将来の職業選択に生かせる実践的な就業体験を行う。
ヒューマンケアチームアプローチ演習	2	社会福祉・看護・栄養における各分野で実務経験を有する複数の教員が、チームで行うケアプラン作成の演習指導を行う。
臨床病態学Ⅱ	2	産科婦人科疾患および小児科疾患について、専門の医師を講師として招聘し、講義行う。
精神保健学	1	精神医学及び精神看護の経験のある教員が、精神疾患、精神医療・看護の歴史及び関連法について講義を行う。
人間発達学	1	医療・教育・福祉現場での心理臨床経験がある教員が、人間の発達について講義を行う。
医療と安全	1	看護師及び医療安全部門・感染管理部門における実務経験を有する看護師が、医療における安全管理・感染管理に関する講義を行う。
人体構造機能学Ⅰ	1	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
人体構造機能学Ⅱ	2	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
病理学	1	病理学を専門とする医師が、病理学に関する講義を行う。
薬理学	1	薬剤師である講師が、薬理学に関する講義を行う。
看護学原論Ⅰ	1	看護実践経験のある教員が、看護の本質、看護の対象、看護の概念の変遷、看護の定義、機能及び構造等について講義を行う。
看護学原論Ⅱ	1	看護師としての実務経験を持つ教員が、看護実践に対する分析思考・実技実践に関する理論的根拠等について考察する授業を行う。
公衆衛生看護学Ⅰ	2	保健師資格を有し、保健所・市町村保健師活動の実務経験のある教員が、公衆衛生看護学の概念及び活動、基本的な考え方について講義を行う。
公衆衛生看護学Ⅱ	2	行政（市町村・保健所）および事業所で保健師として働いた経験を持つ教員が、公衆衛生看護活動の各論に関する講義を行う。
精神看護学	2	精神（科）看護の臨床経験のある教員が、精神（科）看護について講義を行う。
国際看護論	2	海外での看護活動の経験のある教員が、国際看護について講義を行う。

科目名	単位数	授業内容
在宅看護論Ⅱ	2	看護師及び保健師資格を有し、在宅看護の経験がある教員が、在宅看護の実践方法について講義を行う。
老年看護学Ⅱ	1	看護師としての実務経験を有する教員が、老年看護の実践方法等について考察する授業を行う。
小児看護学Ⅱ	1	小児看護の臨床経験のある教員が、健康障害を持つ小児とその家族について講義を行う。
母性看護学Ⅱ	1	母性看護、助産師の臨床経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象への看護と母性や乳児の健康を保持増進するための生活指導、育児指導のあり方について講義を行う。
アセスメント技術	1	臨床看護の経験がある教員が、アセスメント技術の講義、演習を行う。
看護過程	1	看護実践経験のある教員が、ペーパーペイシェントの看護過程展開について演習指導を行う。
基礎看護技術Ⅱ	1	看護師経験のある教員が、基礎看護技術の講義・演習を行う。
臨床看護技術Ⅰ	1	看護師経験のある教員が、臨床で看護を実践する上で必要度の高い看護技術の演習を行う。
臨床看護技術Ⅱ	1	助産師経験のある教員と小児看護の臨床経験のある教員が、母性看護技術および小児看護技術の演習を行う。
健康教育・保健指導技術	1	保健師資格を有し、健康教育・保健指導の実践経験のある教員が、健康教育技術の講義・演習を行う。
カウンセリング・ケースワーク	1	医療・教育・福祉現場での心理臨床経験がある教員が、学内にて演習指導を行う。
基礎看護学実習Ⅰ	1	看護師経験のある教員が、病院にて実習指導を行う。
基礎看護学実習Ⅱ	1	臨床看護の経験がある教員が、病院で実習指導を行う。
基礎看護学実習Ⅲ	2	看護師経験のある教員が、病院にて実習指導を行う。
成人看護学実習Ⅰ	3	成人看護の経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
成人看護学実習Ⅱ	3	成人看護（急性期）の臨床経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
老年看護学実習	3	老年看護の経験がある教員が、病院及び高齢者施設にて実習指導を行う。
小児看護学実習	2	小児看護の経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
母性看護学実習	2	母性看護の経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
精神看護学実習	2	精神（科）看護の経験のある教員が、病院にて実習指導を行う。
家族看護論Ⅰ	1	看護師としての実務経験を持つ講師が、臨床での家族看護の豊富な経験に基づいて講義を行う。
家族看護論Ⅱ	1	看護師としての実務経験を持つ講師が、臨床での家族看護の豊富な経験に基づいて講義を行う。
高齢者ケア論	1	看護師としての実務経験がある教員が、高齢者のケアについての講義を行う。
発達障害ケア論	1	発達障害への関わり経験のある教員が、発達障害の理解、支援について講義を行う。
地域ケア論	1	保健師資格を有する教員が、地域ケアを展開する上での課題及び解決方法について考察するための講義・演習を行う。
養護概説Ⅰ	1	学校保健活動の経験がある教員が、養護実践について講義を行う。
養護概説Ⅱ	1	学校保健活動の経験がある教員が、養護実践について講義を行う。

科目名	単位数	授業内容
学校保健	2	学校保健活動の経験がある教員と現職養護教諭が学校保健について講義を行う。

【　　】外の科目名は2021年度以前入学生用カリキュラム上の科目名、【　　】内の科目名は今年度の開講科目名

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（山口県立大学）

看護栄養学部　看護学科

2022～2024年度入学生用カリキュラム：合計96単位（基盤教育13単位）（他学部等共通4単位）
省令で定める単位数等の基準数相当分(13単位)

科目名	単位数	授業内容
ライフデザイン	2	学習面・生活面に係る課題に対するグループワーク等を通じて、自律した生活者としてのスキルを身に付けるための授業を展開する。 ・DV被害者支援団体から講師を招聘し、DV被害等に合わないためにどのような点に注意すべきかについて学習する。 ・山口県弁護士会等に勤務する講師を招聘し、消費者トラブルについて学ぶ。 ・山口保護観察所に勤務する講師を招聘し、薬物乱用のリスクについて学ぶ。
インターンシップ	2	主に県内の事業所においてインターンシップを行い、地域で働く意味を知るとともに、自分の専攻分野や将来の職業選択に生かせる実践的な就業体験を行う。
生命と倫理	2	・助産師経験のある教員が、出生前診断・生殖補助医療現場について講義を行う。 ・小児科・NICUでの看護師経験のある教員が、子どもと生命に関する倫理について講義を行う。 ・消化器外科の経験のある教員が、消化器疾患、特にがんに関する講義を行う。 ・外科医経験のある教員が、最新医療技術について講義を行う。
地域環境論	2	NPO法人や市民活動団体の代表者として組織のマネジメントをしながら活動を実施している教員が、課題解決のため継続的に実践できるよう、その取り組み事例等を紹介しながら授業を行う。
日本の芸術と文化Ⅰ	1	表千家同門会の学校茶道指導者である講師が、茶道の基本的な作法を修得することを目標とする授業を行う。
日本の芸術と文化Ⅱ	1	華道専正池坊及びロイヤルフラワーアレンジメントの資格を持つ講師が、生花、自然花、自由花の実技とともにニーズにあったフラワーアレンジメントも取り入れる等華道の様々な技法の修得を目標とする授業を行う。
山口の芸術と文化	1	日本伝統工芸展に複数回入選歴のある萩焼作家である教員が、作陶の指導を行う。
データサイエンス概論	2	民間企業に勤務経験のある教員が、分析事例の説明として簡単な実例を用いる等、実務のノウハウ等を組み込んで授業を行う。
人体構造機能学Ⅰ	1	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
人体構造機能学Ⅱ	2	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
病理学	1	病理学を専門とする医師が、病理学に関する講義を行う。
薬理学	1	薬剤師である講師が、薬理学に関する講義を行う。
臨床病態学Ⅰ	2	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
臨床病態学Ⅱ	2	産科婦人科疾患および小児科疾患について、専門の医師を講師として招聘し、講義行う。
臨床病態学Ⅲ	1	医師として実務経験を有する教員が、臨床現場でのニーズを踏まえて講義を行う。
精神保健学	1	精神医学及び精神看護の経験のある教員が、精神疾患、精神医療及び精神障害について講義を行う。
人間発達学	1	医療・教育・福祉現場での心理臨床経験がある教員が、人間の発達について講義を行う。
社会福祉学	1	福祉事務所ケースワーカー等の福祉行政職員や障害福祉サービス事業所を運営する社会福祉法人職員等、実務経験を有する講師が社会福祉全般にかかわる概論について講義を行う。
対人援助技術論Ⅰ	1	医療・教育・福祉現場での心理臨床経験がある教員が、人と関わる上で必要となる基本的態度について講義を行う。
看護学原論Ⅰ	1	看護実践経験のある教員が、看護の本質、看護の対象、看護の概念の変遷、看護の定義、看護活動の場と看護の専門性等について講義を行う。
看護学原論Ⅱ	1	看護師としての実務経験を持つ教員が、看護実践に対する分析思考・実技実践に関する理論的根拠等について考察する授業を行う。

科目名	単位数	授業内容
看護技術論	2	看護職としての経験のある教員が、看護技術の基本原則と実践への応用について講義を行う。
医療と安全	1	看護師及び医療安全部門・感染管理部門における実務経験を有する看護師が、医療における安全管理・感染管理に関する講義を行う。
アセスメント技術	1	臨床看護の経験がある教員が、アセスメント技術の講義、演習を行う。
看護過程	1	看護実践経験のある教員が、ペーパーペイシェントの看護過程展開について演習指導を行う。
基礎看護技術Ⅰ	2	臨床看護の経験がある教員が、基礎看護技術の講義、演習を行う。
基礎看護技術Ⅱ	1	看護師経験のある教員が、基礎看護技術の講義・演習を行う。
看護倫理	1	看護職としての経験のある教員が、現場で生じる倫理的な課題について講義を行う。
基礎看護学実習Ⅰ	1	看護師経験のある教員が、病院にて実習指導を行う。
基礎看護学実習Ⅱ	1	臨床看護の経験がある教員が、病院で実習指導を行う。
基礎看護学実習Ⅲ	2	看護師経験のある教員が、病院にて実習指導を行う。
成人看護学Ⅰ	2	成人看護の臨床経験のある教員が、成人看護の概論について講義を行う。
成人看護学Ⅱ（慢性期）	1	成人看護の臨床経験のある教員が、慢性的健康課題をもつ患者とその家族について講義を行う。
成人看護学Ⅲ（急性期）	1	成人看護（急性期）の臨床経験のある教員が、急性期看護について講義および技術演習を行う。
老年看護学Ⅰ	2	看護師としての経験がある教員が、老年看護学についての講義を行う。
老年看護学Ⅱ	1	看護師としての実務経験を有する教員が、老年看護の実践方法等について考察する授業を行う。
小児看護学Ⅰ	2	小児看護の臨床経験のある教員が、健康な小児とその家族について講義を行う。
小児看護学Ⅱ	1	小児看護の臨床経験のある教員が、健康障害を持つ小児とその家族について講義を行う。
母性看護学Ⅰ	2	母性看護、助産師の臨床経験のある教員が、母性看護に関する諸概念や社会の変遷と現状、女性のライフサイクル各期の特徴・健康課題と看護等について講義を行う。
母性看護学Ⅱ	1	母性看護、助産師の臨床経験のある教員が、妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象への看護と母性や乳児の健康を保持増進するための生活指導、育児指導のあり方について講義を行う。
公衆衛生看護学Ⅰ	2	保健師資格を有し、保健所・市町村保健師活動の実務経験のある教員が、公衆衛生看護学の概念及び活動、基本的な考え方について講義を行う。
公衆衛生看護学Ⅱ	2	行政（市町村・保健所）および事業所で保健師として働いた経験を持つ教員が、公衆衛生看護活動の各論に関する講義を行う。
地域・在宅看護論Ⅰ	2	看護師及び保健師資格を有し、在宅看護の経験がある教員が、在宅看護の実践方法について講義を行う。
地域・在宅看護論Ⅱ	1	看護師及び保健師資格を有し、在宅看護の経験がある教員が、在宅看護の実践方法について講義を行う。
臨床看護技術Ⅰ	1	看護師経験のある教員が、臨床で看護を実践する上で必要度の高い看護技術の演習を行う。
臨床看護技術Ⅱ	1	助産師経験のある教員と小児看護の臨床経験のある教員が、母性看護技術および小児看護技術の演習を行う。
健康教育・保健指導技術	1	保健師資格を有し、保健所・市町村保健師活動の実務経験のある教員が、個別保健指導及び集団健康教育について講義を行う。

科目名	単位数	授業内容
成人・老年看護学実習Ⅰ（慢性期）	3	成人看護（慢性期）の臨床経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
成人・老年看護学実習Ⅱ（急性期）	3	成人看護（急性期）の臨床経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
看護の探求Ⅰ（高度専門看護）	1	専門看護師や認定看護師の経験のある講師が、高度専門医療における看護の役割や課題を講義する。
看護の探求Ⅱ（臨床判断）	1	看護師経験のある教員が、看護職の思考プロセスの特徴や臨床判断能力について講義する。
看護の統合Ⅰ（災害・国際看護論）	1	災害看護と国際看護の経験のある教員が講義を行う。
看護の統合Ⅰ（現代社会の健康課題）	1	各分野の専門の講師が講義を行う。
学校保健	2	学校保健活動の経験がある教員が、学校保健について講義を行う。
養護概説Ⅰ	1	学校保健活動の経験がある教員が、養護実践について講義を行う。
養護概説Ⅱ	1	学校保健活動の経験がある教員が、養護実践について講義を行う。
ヒューマンケアアプローチ論	1	専門職の実務経験を有する複数の教員が、多職種連携の在り方について講義を行う。
看護学実践実習	2	看護師の経験のある教員が、実践的な看護や多職種連携について病院等で実習指導を行う。
ヒューマンケアチームアプローチ演習	2	社会福祉・看護・栄養における各分野で実務経験を有する複数の教員が、チームで行うケアプラン作成の演習指導を行う。
臨床栄養学	1	管理栄養士として急性期および慢性期病院に勤務した経験を持つ教員が、実際の症例を提示しながら臨床栄養学についての授業を行う。
精神看護学Ⅰ	1	精神（科）看護の臨床経験のある教員が、精神（科）看護について講義を行う。
精神看護学Ⅱ	2	精神（科）看護の臨床経験のある教員が、精神（科）看護について講義を行う。
小児看護学実習	2	小児看護の経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
母性看護学実習	2	母性看護の経験がある教員が、病院にて実習指導を行う。
精神看護学実習	2	精神（科）看護の経験のある教員が、病院にて実習指導を行う。
高齢者ケア論	1	看護師としての実務経験がある教員が、高齢者のケアについての講義を行う。
地域ケア論	1	保健師資格を有する教員が、地域ケアを展開する上での課題及び解決方法について考察するための講義・演習を行う。